

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.84-85 アフリカ州の自然環境
2. 目標 (1) アフリカ州の自然環境の特色を、地図や主題図を読み取って理解し、考察することができる。
(2) アフリカ州の気候の特色を、雨温図と植生から考察することができる。

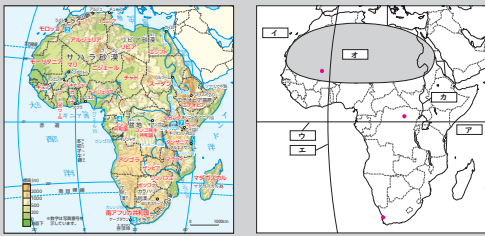
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ アフリカ州の自然環境の特色を、地図や主題図の読み取りを通して理解している。
思考・判断・表現	・ アフリカ州の気候の特色を、植生や人々の暮らしと関連させて考察している。
主体的に学習に取り組む態度	・ アフリカ州の自然環境や、そこでの人々の生活に関心を高め、追究しようとしている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
節の見通し	0. 「写真で眺めるアフリカ州」を題材にし、「節の問い」への見通しを持つ。	 p.82-83 1～6 写真から、アフリカ州について知っていることを挙げてみよう。 「節の問い」について、学んでみたいことや、疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。 解決のために、何が分かればよいか、どのようなことを調べればよいかなど、見通しを立てよう。	○ 知っている風景や国名などを挙げさせながら、アフリカ州への関心を高めさせる。 ○ 植生や人々の服装、生活の様子にも着目させる。 ○ 「学習の見通し・振り返りシート」へ記入させ、節の学習の見通しを持たせる。
導入	1. アフリカ州の自然環境の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 予想した内容を話し合い、学習課題への見通しを持つ。	 p.82-83 1～6 アフリカの自然環境にはどのような特色があるのだろうか。 アフリカの自然環境や人々の暮らしについて予想してみよう。	○ 写真を見ながら、本時への導入を図る。 ○ どのような地形や気候が広がっているか予想させ、自由に発表させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：アフリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。			

3. アフリカ州の地形の特色を理解する。



p.84 1

アフリカ州の緯度・経度や周辺の海洋名からおおまかな位置をつかみ、主な地形の名称を確認しよう。

アフリカ大陸の標高について、地図を見て気付いたことを挙げてみよう。

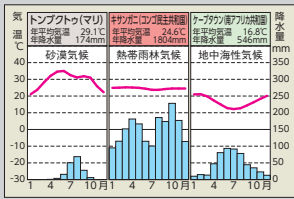


p.84 2



「サハラ砂漠の自然」

サハラ砂漠にはどのような風景が広がっているのだろうか。



p.85 8



地図帳 p.42 ②

地図で都市の位置を確認しながら、気候の特色を読み取ってみよう。



p.85 4



p.85 5

4. アフリカ州の気候の多様性を理解し、特色を考察する。

○ 学習プリントを活用し、主な地形の名称を整理させ、赤道や本初子午線、大洋名からアフリカ州の具体的な位置をイメージさせる。

○ 教科書と地図帳を用いて、アフリカ州の大きさや標高の特色を読み取らせる。

◆ 険しい山脈は少ないが、標高200m以下の低地が少なく、大陸の東部や南部の標高が高いことに気付かせる。

○ サハラ砂漠やナイル川について知っている情報を挙げさせる。
○ 「砂漠」は、砂漠だけではなく、礫砂漠や岩石砂漠も多いことを補足する。

○ 雨温図の都市の位置を地図帳で確認させながら、アフリカ州の気候の特色を考察させる。

○ 雨温図コンテンツや地図帳を活用して、アフリカ大陸全体の気候の特色を考えさせる。

◆ 赤道から高緯度に向かって、熱帯が広がる地域、乾燥帯が広がる地域、温帯が広がる地域が分布していることをつかませ、植生や人々の生活と結び付けて気候の特色を理解させる。

5. 本時のまとめをする。

アフリカ州の気候の特色を、赤道からの距離に着目して説明しよう。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

6. 学習課題への振り返りの活動を行う。

◆ アフリカ州の気候は赤道から近い順に熱帯、乾燥帯、温帯が分布し、赤道を挟んで南北に対称な気候になっていることを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。